

「ワンヘルス等に関する研修会」が開催されました !!

公益社団法人・福岡県獣医師会は、令和5年8月23日（水）、アジア獣医師会連合（FAVA）ワンヘルス福岡オフィスの研修室で、「ワンヘルス等に関する研修会」を開催されました。

研修会の対象者は、福岡県に令和3年度から5年度に採用された獣医師職15名の皆さんです。福岡県職員獣医師の業務は、家畜衛生、食品衛生、動物愛護や環境保全など多岐に渡っています。

今回の研修会は、令和3年1月5日に「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が施行され、ワンヘルス推進に係る県職員獣医師の役割と責務が増していることから、ワンヘルス及び相互の業務に対する理解を深めることを目的に開催されたものです。

研修会の冒頭、**藏内勇夫** FAVA ワンヘルス福岡オフィス所長（日本獣医師会会長）が挨拶されました。



【藏内所長：挨拶】

日本獣医師会は、2004年にニューヨークのマンハッタンであった国際会議「ワンワールド・ワンヘルス」以前から、世界獣医師会と世界医師会とともに、「動物と人の共生社会づくり」を目標に活動を続けてきました。

先に行われた「G7広島サミット」でもワンヘルスが議論されました。そして、政府の重大政策「骨太の方針」の中にも明記されました。これはまさしく、福岡県獣医師会、日本獣医師会、アジア獣医師会連合が、国等に働きかけた成果です。

感染症には三原則があります。感染源、キャリア、宿主です。我々は、感染源、感染キャリア、宿主対策やワクチン開発とか製造をやっていきます。獣医師職はこれらの全部に関わっています。今回のパンデミックで、獣医師の幅広い役割が多くの国民の

皆様に理解されました。私はワンヘルスを推進することによって、獣医師の社会的な地位の向上に結び付けていきたいと思っています。

今日は、皆さん方にワンヘルスというものを理解いただきたいと思います。

服部知事は県政の三大政策の中の一つに、「ワンヘルスを推進することによって、福岡県が世界に選ばれるようにしたい」と発言されています。

これから、皆さん方の役割は、大きなものがあろうと思います。 (一部抜粋)



野原隆士副会長



今村和彦副会長

【研修会テーマ】

(1) 福岡県獣医師会の概要について

福岡県獣医師会の組織
 ※ 会員 717名
 【支部】
 ・福岡中央 184名
 ・福岡 262名
 ・東北 141名
 ・県南 130名
 【部会】
 ・産業動物部会 134名
 ・小動物部会 356名
 ・公衆衛生部会 176名
 ※ 賛助会員 6社

福岡県獣医師会の活動
 □ 学術 研修・講習会・学会の開催
 ♪ 畜産 畜産関係・食品衛生
 ♡ 動物愛護 野鳥動物保護支援 学校飼育動物支援 補助犬診察・狂犬病予防 さいごの診察室診察 いのちをつなぐ取り組み 災害時動物救済対策
 🏠 共通感染症対策
 🌐 One Healthの推進
 < 会員数増加は適切な救急物資の使用に繋がります >

専門委員会の活動
 ・組織財政委員会
 ・One Health推進委員会
 ・動物防災委員会
 ・学校飼育動物委員会
 ・いのちをつなぐ委員会
 ・会報編集委員会

(2) 動物保健衛生所について

ワンヘルスセンターについて

動物の種類と保健衛生の課題
 家畜 野生動物
 愛玩動物 展示動物
 動物飼育 保健所 診療獣医師
 全ての動物の保健衛生を監視することが重要!

動物保健衛生所の設置
 ・筑後家畜保健衛生所を保健医療経営大学跡地に移転
 ・対象を全ての動物に拡大
 ・名称は「福岡県動物保健衛生所(福岡県筑後家畜保健衛生所)」

(3) ワンヘルスのこれまでの経緯と今後について

アジア ワンヘルス福岡宣言2022
 (一部抜粋)
 1 人と動物の共通感染症の予防とまん延防止
 2 薬剤耐性菌への対策の更なる推進
 3 生物多様性の維持や地球環境の保護
 4 獣医学教育の更なる整備と国際連携
 5 医療機関や行政、市民団体、大学、国際機関等との連携によるワンヘルスの推進
 6 ワンヘルス研究や教育のためFAVA活動の拠点の整備と強化

今年、8月1日に移転しました
 最寄り:地下鉄「赤坂」 最寄り:地下鉄「天神」
 福岡中央区赤坂1-4-29 福岡中央区天神1-1-1
 公社) 福岡県獣医師会 福岡県家畜人工授精師協会 福岡県装蹄師会
 アクロス福岡 13階

2023年8月1日 FAVAワンヘルス福岡オフィス 開所式
 福岡中央区天神1-1-1 アクロス福岡13階

2023年8月24日

福岡ワンヘルス協議会・事務局